

# 秋田・根子荒田Ⅰ遺跡

1 所在地 秋田県仙北郡美郷町六郷字根子荒田

2 調査期間 二〇〇六年(平18)五月～七月

3 発掘機関 美郷町教育委員会

4 調査担当者 山形博康・高橋和夫

5 遺跡の種類 遺物包含地・集落跡

6 遺跡の年代 平安時代～近世

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

根子荒田Ⅰ遺跡は、六郷彈正道行が永祿二年(一五五九)に築城したとされる六郷城の北東約七五〇mに位置する。今回の調査面積は二二〇〇㎡である。場所



(六郷)

によつては一九五六年から五九年にかけて行なわれた耕地整理の影響を受けている。

検出した遺構は、土坑九基、溝状遺構三条、旧河川一条、堅穴状遺構二基、掘立柱建物四棟、性格不明遺

構二基、柱穴様ビット五三基である。各遺構の構築時期は、出土遺物から判断して平安時代から近世に属するものである。

基本土層は、表土、遺物包含層である黒褐色土層、遺構確認面である黄褐色土層の三層に分けられ、木簡は黒褐色土層から一点出土した。

8 木簡の釈文・内容

(1) ・「 $\vee$ 」□<sup>〔のカ〕</sup>

・「 $\vee$ 」(記号)

(64)×28×4 039

上端左部と下端は欠損しているが、側面に切り込みが確認できる。木簡の形態から荷札であると思われる。なお、釈読にあたっては、亀井日出男氏、佐々木志光氏、及び秋田県教育庁払田柵跡調査事務所の高橋孝氏のご教示を得た。

9 関係文献

美郷町教育委員会『根子荒田Ⅰ遺跡』(美郷町埋蔵文化財調査報告書四、二〇〇七年)

(高橋和夫)

